



MONTHLY

かわせみ通信

5月号

2026年5月

Vol.201

発行所

株式会社 東海テクノ

本社/三重県四日市市午起2丁目4番18号 (〒510-0023)

TEL.059-332-5122 (代) <https://www.tokai-techno.co.jp>

高度化するサイバー攻撃と内部リスク ～企業を取り巻く情報セキュリティの新たな脅威～

近年、企業を取り巻く情報セキュリティの脅威は大きく変化している。従来は外部からのサイバー攻撃が主なリスクとして認識されてきたが、現在ではそれに加え、内部要因による情報漏えいも深刻な課題となっており、企業はこれまで以上に多面的なリスクへの対応を迫られている。

外部からの攻撃は年々高度化・巧妙化している。特にランサムウェアによる被害は依然として多く、企業のシステム停止や業務継続への影響が問題となっている。最近では、単にデータを暗号化するだけでなく、窃取した情報を公開すると脅す「二重脅迫型」の手口も一般化しており、被害はより深刻化している。実際に国内でも大手企業がサイバー攻撃を受け、受発注システムの停止や物流の混乱が発生するなど、事業活動に大きな影響を及ぼした事例が報じられており、その深刻さは記憶に新しい。また、標的型メール攻撃やサプライチェーンを狙った侵入など、取引先や関連会社を経由して被害が拡大するケースも増えており、従来の境界型防御だけでは十分に対応できない状況となっている。

一方で、内部リスクも無視でき

ない。従業員による不適切な情報の持ち出しや、メール誤送信、クラウドサービスの設定ミスなど、日常業務の延長で発生する事案は後を絶たない。これらは高度な技術を伴わない一方で、発見が遅れやすく、結果として重大な情報漏えいにつながる可能性がある。加えて、退職者による情報の持ち出しや、委託先における管理不備など、組織の外縁部におけるリスクも顕在化してきている。

こうした状況の背景には、デジタル化の進展がある。クラウドサービスの普及やリモートワークの定着により、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方が実現した

一方で、情報へのアクセスは格段に広がり、管理の難易度は増している。また、業務の外部委託やサプライチェーンの複雑化により、企業単体では把握しきれないリスクも増加しており、「どこまでを自社の責任として管理するのか」という視点も重要となっている。

このように、現在の情報セキュリティは「外部攻撃」と「内部リスク」の両面から捉える必要があり、どちらか一方に偏った対策では不十分である。技術的な防御策の強化に加え、運用ルールの整備や従業員の意識向上を含めた総合的な対応が求められている。さらに、被害を完全に防ぐことが難しいことを前提とし、インシデント発生時の対応体制や復旧プロセスの整備といった「備え」の重要性も高まっている。

今後もデジタル化が進展する中で、情報セキュリティの重要性は一層高まっていくと考えられる。企業にとっては、単なる防御の問題として捉えるのではなく、事業継続や信頼性確保の観点から、継続的に見直し・強化していくべき経営基盤の一つとして位置づけていくことが必要となってくる。



最近の法規制動向について

『皮膚障害等防止用保護具の選定マニュアル(第3版)』が公表されました。

本マニュアルは保護具着用管理責任者の皮膚障害等防止用保護具の適切な選択・使用・保守管理を推進することを目的に作られており、参考資料に耐透過性能一覧表や化学防護服の選定の考え方等について追記されました。なお、厚生労働省の発行する「マニュアル」の位置付けとしては、直接的な法的拘束力(罰則を伴う強制力)は持たないものの、行政指導の規準としての役割を持つため、「法的リスクを回避するために遵守すべき手順書」と認識して頂くことをお勧め致します。

リスクアセスメント対象物質が R8.4.1 ～更に追加されました。

R6年4月に施行された労働安全衛生法改正により、リスクアセスメント対象物質が順次追加され、R8.4.1の追加で約2,300種類になりました。もはや暗記は困難ですので、公的なサイトを利用して、ご確認頂くことをお勧め致します。

例) 独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所

<https://cheminfo.johas.go.jp/step/list.html?page=1>

東海テクノからのお知らせ

ホルムズ情勢と原材料調達への影響について

中東情勢の緊張を受け、原材料調達への影響を確認しました。現在、価格上昇等の懸念は使用量の少ない品目が中心であり、サービス提供に大きな支障が出る状況ではありません。一部原材料の価格上昇に伴い、現在仕入業者と単価契約の見直しを進めております。結果によりお客様へご負担をお願いする可能性もございますが、社内努力により影響の最小化に努めてまいります。また、世界的に供給が不安定な「ヘリウム」については、現時点で十分な在庫を確保しており問題ありません。今後も市場変化を注視し、安心してご利用いただける安定供給体制を維持してまいります。

編集後記

今月号の特集「セキュリティの脅威」は当社でも他人事ではなく、先日、問い合わせフォームから数万通のスパムメールを受けその怖さを痛感しました。一方で、メイン記事欄の挿絵は生成AIが制作したものです。脅威に備えつつ、AIの恩恵を賢く享受する。そんな「両面」と上手に付き合う時代が来ていますね。また先月号のクイズに合わせ、温かいメッセージをいただきました。最後はやはり人との繋がりを大事にしたいです。当選者の方には6月上旬に商品をお送りいたします。(みっちー)



社員プチコラム

吉川 将史 (企画開発事業部)

妻が手がけている畑では、白長ねぎにネギ坊主が顔を出し始め、季節の移ろいを感じるようになりました。わが家には現在、犬、猫、スッポン、タウナギそしてメダカ多数といろんな生き物が暮らしており、毎日にぎやかな動物園のようです。そんな中、今度は新たにヤギを迎えることになりましたので、ここ最近の週末はヤギの飼育場づくりに時間を費やしています。動物たちに囲まれた暮らしは手間もありますが、日々の小さな癒しになっています。これからは畑の草取りにも少し活躍してくれるのではと期待しつつ、楽しみにしています。

